

52. ^{さんいんどう}山陰道—^{がもうとうげごえ}蒲生峠越

選定箇所：春來～蒲生峠（兵庫県新温泉町）、山神（鳥取県岩美町）

概要：近世の「山陰道」は、鳥取と京都を結ぶ主要街道として鳥取藩が整備し、特に鳥取城下から鳥取市福部町、岩美町を通過し兵庫県但馬地方に向かう往還の道は、「但馬往来」と呼ばれていた。但馬は山が海岸線まで張り出し道路の整備が困難であったため、京都方面へ向かうには蒲生峠が本道とされ、秀吉勢の因幡進攻にも利用された。山陰道蒲生峠越は史跡に指定され、現在でも峠付近には「延命地藏大菩薩」の台座が残り、当時の往来の様子を今に伝えている。

